

Tricolore [rouge]

ちゃったのです。

作 渡邊一功  
演出 遠山浩司

舞台場には三つの風景。  
以下、三景が時に切り替わり、時にシンクロしながら進んでいく。

登場人物

朝倉 (f.)  
フミヤ (m.)  
チツエ (f.)  
本多 (m.)  
ミハル (f.)

朝、その一。  
時計のアラーム音。  
舞台上にはイーゼルとキャンパス。  
着替え中の本多がアラームを止める。  
シャツのボタンを閉じネクタイを締める。  
ミハルが起きてくる。  
とどこどころ絵の具のついた、ロープまたはスモッグを羽織っている。

薄明かりの中、声が聞こえる。

朝倉 昨日「あなた」の夢を見ました。始発の音が聞こえるまで仕事をしてたから、正確には今朝。夢の中でアタシはあなたの腕の中にいました。服を着ていたか覚えてないのでする前なのかした後なのか分からないけど、でもどっちかです。あなたは私の顔や胸、髪の毛を優しく撫でてくれました。そりゃあもう、これ以上はないってくらいに優しくさ。でも私にはあなたが誰だか分かりません。だってアタシにや彼氏もダンナも恋人も、彼女もベツトもないんだもん！  
でも夢の中であなたは「あなた」でした。アタシはとても幸せで心地よく、あなたの腕の中で眠りに就くところでした。でもその瞬間、目覚まし時計が鳴って、アタシはハードでヘビーなりアルワールドに戻って来

ミハル 行くの？  
本多 ああ、うん。  
ミハル 早いんだ。  
本多 直出なんだ。いまどき八時半出勤だって。  
ミハル どこ？  
本多 名前言っても分かんないよ。小さなトコだから。  
ミハル じゃなくて場所。  
本多 日本橋。  
ミハル 間に合わないじゃない。  
本多 いや、約束は九時だから……あ、そう。  
ミハル なに？  
本多 カフス見てない？  
ミハル カフス？  
本多 かたつば無いんだ、探したんだけど。

ミハル お風呂場は？  
 本多 見た。ベッドの周りにも無かった。  
 ミハル どこだろ。高いの？  
 本多 いや、そつでもないけど。貰いモンでさ。  
 ミハル 探す？  
 本多 ん……いや、いいよ。もう行かなきゃだし。  
 ミハル そつ？ じゃあ見つけたら。  
 本多 うん、また来たとき。キミは？  
 ミハル え、  
 本多 どうするの、今日。  
 ミハル ん……絵え描くか買い物行くか、かな。  
 本多 そつ……

ジャケットを羽織る本多。  
 ミハル 行つてらっしゃい。  
 本多 ……あのさ。  
 ミハル なに？  
 本多 なんかも忘れてない？  
 ミハル なに？ 他にも何が置いてくつもり？  
 本多 いや、じゃなくてキミ。  
 ミハル ワタシ？  
 本多 そつ。  
 ミハル なんて？  
 本多 ん……じゃあいいや。またね。  
 ミハル うん、またね。

ミハル あくびをして羽織っていた上着のポケットに手を突っ込む。  
 ミハル あ、  
 と、ミハルの手にはカフスポタン。  
 そして呟くように、  
 ミハル ……思い出した。  
 朝、その二。  
 目覚ましのベルが鳴る。  
 たくさんのバッグを抱え、出かける支度をするチツエ。  
 フミヤはまだ寝むっている。  
 チツエ ねえ。  
 フミヤ ……………  
 チツエ ねえったら、ねえ。  
 フミヤ ……………ん……  
 チツエ フミヤ！  
 フミヤ ……ん……なに……………？  
 まだ目覚めていない様子のフミヤ。  
 チツエ 私、もう行くよ。  
 フミヤ ん……  
 チツエ ヨーグルトとアボカド、冷蔵庫に入ってるから。トーストは自分で焼いてね。

フミヤ ん。

チツエ あとコーヒー。豆切れたからインスタントで我慢して。

フミヤ ええ。

チツエ ええ、じゃなくて。アンタ買っというよ。

フミヤ ん……店どこだっけ？

チツエ 南口の商店街入ってすぐ左。豆はサントス。目盛り六で挽いてもらって。

憶えた？

フミヤ ん……商店街入ってすぐ……

チツエ ああもう。書いてく。

チツエ、メモ用紙に書き殴る。

チツエ じゃ、行くね。

フミヤ いま何時？

チツエ 八時半。

フミヤ はやっ。

チツエ アンタ、今日どうするの？

フミヤ ん、渋谷が原宿かな。チツエは？

チツエ 自由が丘と代官山寄って、青山の事務所。そのあと渋谷のスタジオで撮

影して、

フミヤ じゃ表参道にする。よかったら見に来てよ。

チツエ そんな時間ないよ。じゃあね。

フミヤ ん。行ってらっしゃあい……

チツエ、出て行く。

あくびをしながら起きあがるフミヤ。

風呂敷のような布に包まれた仕事道具を広げ始める。

中には数枚の色紙と硯と筆。

フミヤ、もう一度大きくあくび。

朝、その三。

CDラジカセから大音量の音楽。

慌ててそれを止める朝倉。

時計を見て、

朝倉 うわ、ヤバ。

床にはプリントアウトしたデザイン画が散らばっている。

朝倉、何枚もあるその用紙をかき集める。

朝倉 えと、今日は本多さんトコと、篠原さんトコ……

朝倉、デザイン画を見比べる。

朝倉 ETPがコレで、本多さんトコはこれ。コレは百葉舎で、篠原さんトコ

が………あれ……？

デザイン画を探す朝倉。

最後のひとつが見つからない。

朝倉 え、ウン。どこか………マジで………マジっ………ウン、どこか………

どこか……

再び時計を見て焦り出す。

朝倉 げ、マジやば！ ホントどこよあ……マジヨあ、マジ子あ、マジの助え  
……あっ！

朝倉、最後の一枚を見つける。  
だがワインかコーヒーカーでひどく汚れている。

朝倉 ったあ……どしよ……印刷？ や、メール！

一度出て行くが、すぐに戻って来る。  
デザイン画をプラスチックの大判ケースに詰め込み、慌てて出て行く。

昼、その一。

布を広げ道具を並べるフミヤ。

白い色紙の束と空き缶、小さな手書きの看板を置く。  
看板には「ことだま屋」と書いてある。

少しして買い物袋をぶら下げたミハル。

フミヤの前で立ち止まり、不思議そうにのぞき込む。

フミヤ いらっしやい。お買い物？

ミハル 何屋さん？

フミヤ ことだま屋っす。

ミハル え、

フミヤ コトダマヤ。

ミハル 何売ってるんです？

フミヤ 言葉っすね。

ミハル 言葉？

フミヤ そっす。コトバ。

ミハル (筆と硯を見て) 書道とか？

フミヤ ん、ちよっと違いますね。

ミハル じゃあ詩？

フミヤ ま、詩みたいなものです。短いヤツ。

ミハル 準備中。

フミヤ や、営業中ですよ。

ミハル 品物は？

フミヤ オートクチュールなんす。

ミハル は？

フミヤ えと、お客さんが欲しいコトバを、コレに書いて売ります。

ミハル へえ。

フミヤ 何か書きますか？

ミハル ワタシ？

フミヤ ええ、ネエさん。

ミハル なに書いてくれるの？

フミヤ ネエさんがいま必要としているモノ。

ミハル 分かるの？

フミヤ お仕事なんですか？

ミハル なんだと思う？

フミヤ お歳は？

ミハル いくつに見える？

フミヤ ……逆ナンすか？

ミハル 仕事はねえ、ヒトに言えない仕事。歳も言えない。

フミヤ オッケ。じゃあ聞かないことにします。

ミハル ワタシまだ頼んでないよ。

フミヤ いいんす。これからちよっとハナシして書きますから、気に入ったらコ

レ（空き缶）にお金入れてください。十円でも百円でも好きにだけ。  
 ミハル そんなに安くていいの？  
 フミヤ 万札もオツケーっすよ。おつり無いけど。  
 ミハル 気に入ったら？  
 フミヤ 気に入ったら。そんなしちよっと質問に答えてください。  
 ミハル いいけど。  
 フミヤ どっから来ました？  
 ミハル それは家のこと？  
 フミヤ や、なんでもいつでも、どっからでも。  
 ミハル ン……じゃあ、靴屋から。  
 フミヤ てことはそんな靴っすね。  
 ミハル アタリ。  
 フミヤ ていうかアタリまえ。どんな靴？  
 ミハル ミュール。  
 フミヤ ミュール？ 冬なのに？  
 ミハル 冬だから。  
 フミヤ ふうん……じゃこれからどこに行きます？  
 ミハル 届け物をしに行きます。  
 フミヤ ミュールを？  
 ミハル ぶー。  
 フミヤ じゃあ何を。  
 ミハル 忘れモノ。  
 フミヤ 彼氏の？  
 ミハル さあ、どうでしょう。  
 フミヤ 彼氏だ。アタリ。モノはね、腕時計。  
 ミハル 残念。でもウチに忘れてったのは一緒  
 フミヤ ええ、じゃあ……鍵っすね。

ミハル ああ、それ素敵かも。  
 フミヤ 決まり、カギ。それもあなたのココロの扉を開く  
 ミハル やっぱ止めた。（と言って去るうとする）  
 フミヤ ウソ、冗談っす。でもカギはちよっと素敵っすね。鍵を届けに行く女  
 ミハル ははは。  
 ミハルの乾いた笑い。  
 フミヤ ほいで彼氏は自分の部屋の前で（身をかがめて）こおんなになってブルブルしてるんすよ。（携帯を取り出し）「ユカリい、鍵忘れちゃったよあゝ、寒いよあゝ」。  
 ミハル はは。  
 少しだけ笑うミハル。  
 フミヤ でも鍵じゃない？  
 ミハル うん。もう少し小さい。  
 フミヤ 鍵よか？  
 ミハル うん。  
 フミヤ 難しいな。鍵よりでかいのならたくさんあるんすけどね。  
 ミハル そりゃね。  
 フミヤ 財布とかカバンとか……あ、オレ横浜の友達んちにバイク忘れたことあるんすよ。  
 ミハル あらま。おっきな忘れ物だね。  
 フミヤ うん。なんか起きたらすこい天気良くてバイクで来たことすっかり忘れて。家帰ってから気付いた。それも次の日。

戯曲『Tricolore [rouge]』全編は、現在オンラインショップ「架空ストア」さんにて取扱中です。続きをお読みになりたい方は架空ストアさんをお訪ねください。

架空ストア

<http://store.retro-biz.com/>

なお売上金は日本赤十字社の『東北関東大震災義援金』に寄付されます。  
なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。